

## ◆テーマ

# 京都をより良くするために、あなたは何をしていきたいですか？

## 投稿内容

1. 京都市を良くするために市民軽視の市政をこれ以上継続させないように監視すること
2. そもそも政治が悪いから、京都市が良くなるから、だから無能な政治家を選挙当選させないこと
3. 無能な政治家を選挙で排除すること
4. 京都の伝統を次の世代へと繋いでいくこと
5. 昔ながらの季節の行事食を作って食べて継承したい
6. 納税、地産地消。第二次ベビーブーム世代ですが、60歳になったら「無料の」敬老乗車証をゲットして、市バス地下鉄を乗り回し、+（ぷらす）1000歩で足腰を鍛え、京都市内でお金を使い、次世代に迷惑をかけない暮らしをする予定でした。100年時代と言われても不安で何をやる気にもなりません。
7. 内外問わずマナーの悪い方はお断り。と、はっきり公が発信
8. co2をゼロにするために「節水、節電、節ガス」をしたい。また公共交通機関を使ったり、歩いたり自転車でかけたい。ほかにも旬の食べ物や近くでとれたものを食べる。
9. ほかの地域から来たいようにする。例えば教育を無償化したり、地価を低くしたり、新しい建物に書院造や寝殿造りや古流の屋根を付けたりする。
10. 伝統文化を受け継いで京都を守り続けたい。伝統文化を体験できるイベントを多く企画してほしい
11. 美しい日本の風景を守りたい。ジャンボタニシの卵を京都の田んぼから駆逐したい
12. ゴミ拾い。
13. 川や道端のゴミ拾いや、公園の整備、空き家対策に協力したい。でもどこにアクションすればいいかわからないでいる。

14. 木を森に林にもっとうえることです。

15. 女性と男性を増やす

16. 京都市内が本当の京都で市外の京都は京都じゃないという概念は撤廃した方がいい。京都市外の方は、京都出身ですとなぜか言いにくそうです。京都市内の人も京都市外の人もみんなが京都で生まれ育ったことを誇りに思えた方がいいと思います。

17. 京都を愛すること

18. ポイ捨てなど自然を害するものを極力なくすよう努力していきたい。特に、たまに落ちているプラスチックの袋やゴミが気になるので自分がポイ捨てしないよう心掛けるとともに身近な人に対する声掛けなど自分にできそうなことをコツコツやっていくことをしていきたい。

19. 歩きたばこやポイ捨てを取り締まりたい

20. 考え続ける。いまを生きる自分たちよりも、これからの時代を担う若い人たち、これから生まれてくるであろう人たちに、ちゃんと胸を張って誇れるまちにしていくために、何ができるか、何をしていくべきかを自分の足元から見つめ直して、手の届く範囲から行動に移していきたい。

21. 混雑状況を緩和する。現在、京都の混雑状況がわかるアプリやサイト、YouTube 配信はあるが いずれもばらばらで観光客にとっては使いにくく、不便で不正確な部分も多い。現在存在する混雑状況がわかるツールのいいところをとって 使いやすいアプリの開発をしたら良いのではないかな？

22. 京都市で働き続ける。歴史ある祭りなどに参加して活動を盛り上げたい。

23. ・地域の自治活動等に若いうちから関わる。 ・大人も子供もお互いに話せる関係づくりをしていく。

24. 京都市外に住んでいる知人に、京都市へのふるさと納税を促す。

25. 外国人の乗る車の運転が怖いからゆっくり安全運転を心がける

26. 京都市の小中学校の校舎がコンクリートではなく勾配屋根で瓦葺きであったり、塗り壁や材木がふんだんに使われていたり、そのような空間の中で子供たちが活動し、学び成長していくとしたら、将来の京都の街並みを考え、ものごとを大切にしていこうような大人になっていく環境になるのではと思っています。

27. 観客ファーストではなく、京都に住む住民が安心して通勤・通学、日々の暮らしができる環境づくりが大切だと思います。
28. 人と人、人と自然が繋がる京都、みんなが笑顔の京都を広めていきます。
29. 他者ファーストで人間味のある社会づくりのお手伝い この頃都に気になること、二条河原の落書ではないが、あまりにも身勝手、自己中心の考えの人が多すぎる。歩きスマホやながらスマホ、エスカレーターに公共交通、自転車走行などルールやマナーが守られるマチづくりに努めたい。
30. 子育てしやすい京都にする！
31. 京都をより良くするためにあなたは何をしていきたいですか？ 返信して教えてください。
32. 観光客だけではなく今暮らしている人たちにとっても住みやすく楽しみがある町になってほしいと思っています。私は今住んでいる西京区にエンターテインメントの分野で楽しみや感動を提供しつつ、今の事業の技術を応用し交通の問題にも取り組んでいきたいと考えます。
33. 消防団員の外国人登用制度の創設。在留カード保有の外国人を消防団員として登用可能にして欲しい。災害に人種、国籍は関係ないと思います。災害時の外国語対応、日本の救命、防災制知識の習得、地域交流、文化交流などさまざまな利点が見込まれる。
34. 地域コミュニティー、自治組織の維持に必要な町内会制度にマンションも加入すべき地域あっての大小に関わらず伝統行事がマンションやホテルの乱立で成り立たなくなっている。本当の京都らしさは地域住民の力で維持されている。
35. 小浜ルートによる北陸新幹線延長計画を中止させるために、みんなで知恵を出し合う。税金を使い、京都の環境や文化を破壊し、完成した頃には人口減少で十分に活用されないことが予測されるのに、黙ってみているわけにはいかない。時代が変わればそれに応じて計画を見直す勇気が必要。
36. 「子どもを育てやすい」もそうですが、その前段にすら達することができない人達にも光を当てて欲しいです。誰一人取り残さない、という理念を掲げているのなら。
37. 便利とは言えない場所に住んでいますが、車は持たず、必要ならレンタルにします。コロナ禍でマイカーOKの風潮になりましたが、中心部での規制や公共交通への誘導に転換すべき。子どもたちのためにも。流入マイカーや白タクを許容しておいて、市バスの定時運行や黒字経営ができるわけがありません。

38. 就職氷河期世代や引きこもりなどの対策をしないと、将来その人たちは低所得や無年金などで生活保護に陥り、市の財政面を圧迫しかねない。国や府と連動して、対策を講じた方が良いと思う。
39. 自転車を老若男女問わず、歩道から排除する。歩道にある自転車レーンは廃止して、歩道を広くする。歩く街なんやったら、それを前面に出してください。
40. 伝統産業をはじめとする長く続いてきた企業の価値観を体感レベルで学び、日々の事業に活かしていきたい。いじわるな商習慣こそに価値があり京都らしさを支えてきたものだと思います。
41. オーバーツーリズムの対策をする
42. 京町家を利用する。
43. 市政に継続的に意見を出したり、感謝を伝えることで、改善の良い循環を促す。子どもと共に京都を満喫し、子育て中の同世代と子の世代に京都の魅力を伝える。
44. 保育園の無償化。国の制度ではあるが、財政を圧迫している部分もあると思います。しかも3歳を超えないと無償ではない。ベースは応能負担の考え方で、考えてもよいのではないか。保育園を利用するものとしては、あれだけ子どものために頑張っている姿をみると、すべて無償でなくてもよいと思う。
45. 地産地消と農林業の振興なくして京都の自然環境も、景観も、文化も、ひいては観光産業も守れない。京都（市、府）産のものをできるだけ購入します。京都市は、市立学校の給食材料「100%地産」を目指してほしい。
46. 子供 1st で生きられる世界にしていきたい。私ができることは1人で歩いている子どもや公共施設でトイレに1人で行く子どもにそっと目を配り安全かみてあげるこくくらいです。
47. 保育園無償化。産後すぐ働きたいが、0-2歳の保育料が所得で計算され割に合わないため。また、子供3人目4人目の保育料手当の基準が狭く、当てはまる人が少ないと思うので少子化対策に力を入れて欲しい。
48. 小学生からギフテッドなどの制度
49. 区役所のまちづくり推進担当の活動に参加すること。その機会を利用し、自分にとって理想の京都を実現する。
50. 子どもを産み育てやすい環境の整備。日本の課題→1. 人口減少、2. 食料問題、3.

環境・エネルギーですが、京都から1. 人口減少の課題に取り組み、日本一子育てをしやすい町にしていきたい。行政だけでなく企業・団体を巻き込み取り組んでいきたい。

51. ご近所さんたちと「顔の見える関係」になる。毎朝の門掃きやあいさつをしており、学区の自治活動も可能な範囲で参画しています。
52. 禁止だらけの様々な公共空間を、居心地良い場所にリノベーションする。立ち止まり、出会い、交わるための仕掛けをつくる。誰もが、好きなことを気軽に披露できるようにする。それでいて、目的なく過ごしても居心地良い。誰かではなく、皆でその場所を育てている。そんな場所をあちこちにつくりたい。
53. 高齢化社会になっていくので、お年寄りを支えるとともに、コミュニティの再構築を図りたい。
54. 頑張る人たちに光を当て、背中を押してあげること
55. 地域の課題を知って、考えて、周りの人たちと一緒にアクションする！
56. 撤退したゴミの分別と、外出時のゴミの持ち帰りを推奨すること。子供達に教えること。